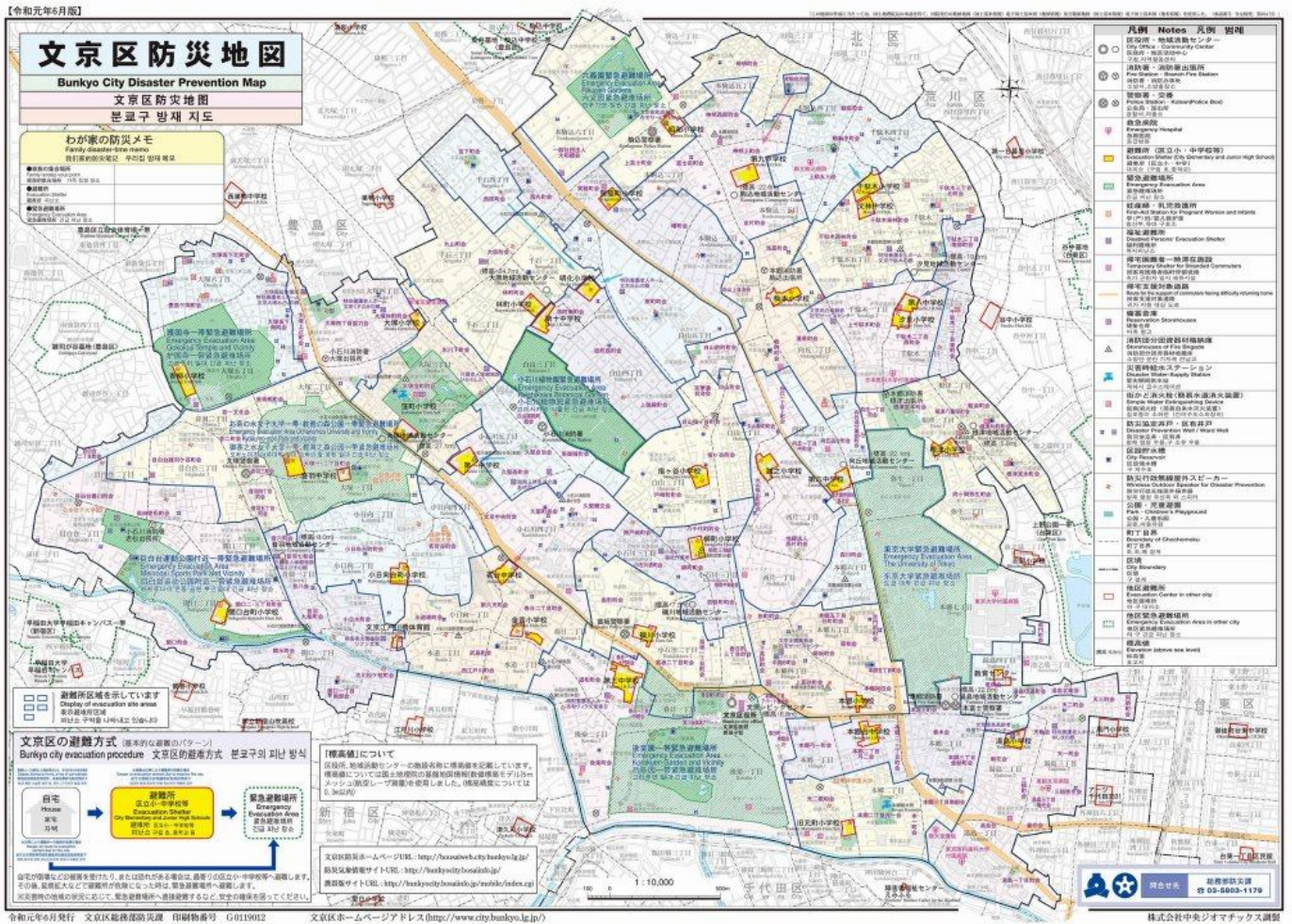


台風19号は、多摩川下流域、利根川河口域、千曲川(信濃川)中流域、阿武隈川中流域、都幾川・越辺川などに、甚大な被害をもたらした。恐らく、どの地域の住民も「たぶん大丈夫だろう」という気持ちが、どこかにあったにちがいない。こうした「たぶん大丈夫」という心理を「正常性バイアス」という。私は今回の台風は今までのものとは「格がちがう」と感じ、金曜日の授業で「自分の住む区の防災地図と水害ハザードマップ」を必ず確認し、家の人と避難について話し合っておくように」と伝えておいた。本校は学区が23区だが、文京区在住の子どもが一番多いので、学年ホワイトボードに文京区の情報进行掲示しておいた。



図は、「文京区防災地図」である。水害や震災などが起きた時に、どこに避難すれば良いかを示した地図だ。区のホームページから無料でダウンロードできる。文京区には大きな公園・庭園・広い面積の大学が多く、広域避難場所には恵まれている。そのほかにも黄色で示した区立の小中学校も「一時避難場所」に指定されている。



私は現在小石川5丁目の、区立一中のそばのマンション3階に住んでいる。お茶の水女子大学、教育の森公園、小石川植物園の3つの広域避難場所に囲まれていて、いざとなれば安心だ。職場に避難すれば良いわけだ。しかし、水害は一瞬でやってくる。もっと詳しく調べたくなった。